



しいの実

たんぽぽ

みず"ワラスだより

2023. 4. 28 えんまちまぶねりんぽえん

★入園・進級おめでとうございませう★

新しい生活・環境にワクワク嬉しい気持ちだけでなく、ドキドキと不安な気持ちになり、してしまうこともあり、色々な気持ちの中で揺れている子どもたちです。ですが、保育者やお友だちと遊んでいるうちに少しずつ安心し、笑顔も見られるようになってきました。これから子どもたちの成長をお家の方と共に見守っていきたいと思います。1年間よろしくお願ひします。



新入園児6名が来てくれました。しいの実ぐみ子どもの様子

四つ這いや伝い歩きでゆくりと自分の行きたいところへ行こうとする大きな月齢の子どもたちと、畳の上で元気いっぱい身体を動かす小さな月齢の子どもたち。わくわくする新しい園生活が始まりました！

☆大きい月齢の子どもたち☆

最初は保育者の顔をじっと見て「誰だろ...」キョロキョロと見回して「ニはどニだろ...」と考え保護者と離れる際にはカーン泣き不安な気持ちを表現していました。不安な気持ちに寄り添い、抱っこやおんがで背中を、抱きしめてソッポ身体をさす、二人と出来れば長いスキンシップをい掛けた。そんな毎日繰り返すことで少しずつ落ち着く時間が短くなってきています。保育者の顔を見て抱っこ求めるように、膝の上で一緒に遊んだり、絵本を楽しんだり出来るようになってきました。またまた不安そうな表情は見られませんが、一緒に遊んでいるときの笑顔が、これからもっと増えていこう。色々な遊びと一緒に楽しみたいです。

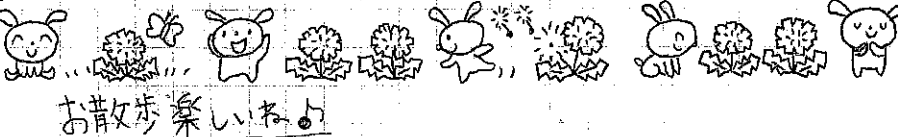
☆小さい月齢の子どもたち☆

見たことのない顔や聞いたことのない声に、少し驚いたような表情をして泣くこともありま。抱っこしてほいほいと泣き抱いておんがが止まらな。機嫌よく遊んでいても突然泣くなどの姿が。不安な思いを少しでも取り除く出来たらという思いから一人ひとりに声をたくさん掛け、笑顔であやし触れ合いを大切にしています。すると、今では抱っこすると落ち着き畳の上で遊び始めます。涙が止まらな子どもは抱っこしてほいほいと泣き声で伝えられるようにもなりました。おもちを見せると掴もうと手をつかき、保育者が動かすと目で追ったり、あやめと笑顔も見られるようになって機嫌よく遊べるようになってきています。これからまた二人といた雰囲気の中でのびのびと楽しく遊んでほしいなと思っています。

みんなこれからどんな風に大きくなって遊ぶかを一緒に楽しむようにしたいなと思います。どうぞ1年間よろしくお願ひします。

たんぽぽ(おみ)

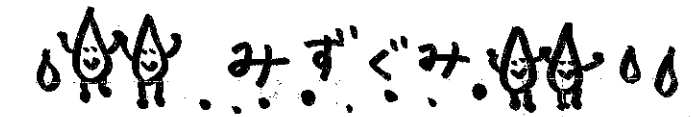
しいの実組から一緒に12人の子どもたちが進級し、12人でのたんぽぽ組の生活がスタートしました。お部屋や保育者が変わり初め頃は慣れずに涙する子どもや表情が固まっていた子どももいましたが毎日を送りながら徐々にたんぽぽ組での生活にも慣れてきました。今では笑顔も土音も、部屋の中も好きな玩具を自分で選んで出して遊んでいます。子どもたちが笑顔で楽しめる毎日を送りたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願ひします。



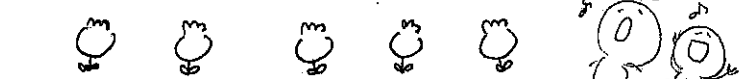
お散歩楽しいね♪
散歩にたくさん出掛け、園外での発見を楽しんでいます。4月は園の近くを中心に御旅所やだるま寺、北野中学校などに行きました。散歩先でたのびと遊ぶようにバギーに乗って行っています。散歩先ではまだ身体を動かして楽しむというよりは、じっと座って石や葉っぱを拾ったり、アリやダンゴ虫を見つけて観察するなど静かな遊びが中心の子どもたちです。

1歳児は「た、た10メートルの道を20分も30分もかけて歩く」と言われます。それだけ時間をかけないと歩けないのではなく、興味のあるものを見つけては、しゃがんだり、立ったり、歩いたり、止まったりをくり返し、時間をかけて歩くことができるのです。大人にとりては何気ないものでも、子どもにとりてはキラキラした宝物に見えるのでしょね。これから子どもたちの探求心を大切にして安全を確保できる場所でぶらぶら散歩も取り入れて楽しんでいきたいと思っています。

おねがい
お怪我につながることもあるので爪はこまめにチェックして常に短く切っておいて下さい。
お衣服の名前が見えづらいものがありますので全ての持ち物にハッキリと記名をお願いします。



新入園児を1人迎え、12人になったみずぐみです。新しい環境、新しい保育者に、最初はおどろきしていた子どもたちですが、少しずつリラックスしてきて、大きな声も出るようになってきました。毎朝、おはようの前に歌う曲もビョンビョン飛びはねながら楽しそうに歌っています。今月は「春がきたよ」という歌を歌っています。5月はまた歌がかわるので何を歌ってよかな？と聞いてみて下さい。



今月は室内や園庭で遊ぶことが多かったです。室内のおもちゃをみんなですべて使う姿が見られます。頭を突き合わせて1つの社会性を仲良く見ている子どもたちを見て、もう社会性が育ってきているのかとびっくりしました。

2歳前に芽生えだした自我は2歳を過ぎてどんどん拡大します。「イヤ」「ダメ」など大人に対して自分の思いや要求を強く出してくる時期です。単に他者からの行動かけを拒否しているのではなく、子どもはこうしたやりとりの中で自己の内面性を豊かにしていきます。さらに、2歳後半では大人の手助けを拒否して反抗するようにみえる行動もとるようになりますが、「自分でやりたい」という子どもの意図を十分に汲み取って見守ることが大切です。その反面、物を分取るときには自分の取り分が減っても他者に分け与える姿を見せるようになります。それまでに拡大してきた自我は充実期を迎えます。

このような子どもたちの姿を大切に、この1年楽しく過ごしてほしいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

☆おねがい☆
・持ち物に分かりやすく名前前の記入をお願いします。
・ケガにつながることもあるので、ツメはこまめにチェックして短く切ってください。